

H30年度 移動入浴ワーキング 振り返り・評価シート

H31年2月19日作成

1 今年度の活動について

【今年度の方針】

運用方法見直し後の状況を確認する。(H29年度ワーキングの取組に対するモニタリング)

【今年度の取り組み内容】

開催回数	5回	開催月	7月、8月、9月、10月、1月
------	----	-----	-----------------

具体的活動内容

《モニタリング内容》

H29年度に実施した移動入浴制度の運用方法見直し後の、「利用者数や利用状況の変化」及び「利用者の声」、「サービス提供事業所の声」、「相談支援事業所の声」についてモニタリングを実施した。

- ①運用方法見直し後の利用者数等の変化の確認については、担当している福祉課障害支援係より利用者数の推移等について確認
- ②「利用者の声」、「相談支援事業所の声」についてはモニタリングを目的としたアンケートを実施。
- ③「サービス提供事業所の声」については、ワーキングメンバーであるサービス提供事業所よりワーキングにて確認

【今年度の取り組み結果】

(今年度の活動からどのような結果となったのかを記載)

--

【取り組みの成果】 ※モニタリングを実施した場合のみ

(取り組みの結果が「どのように地域へ還元できたのか」をモニタリングから確認した内容の記載)

別紙、モニタリング報告書参照。

2 今年度の振り返り及び評価について

【今年度、協議会活動を通じての振り返り(メンバーの感想・意見)】

メンバーが協議会での活動を通じて感じたことや気づき、今年度部会・ワーキングの取り組みに関すること、長岡市協議会の運営や体制に関する課題・意見等

- ・障害と高齢のサービスの違い、利用決定までのスピード感などを知ることができた。
- ・制度改正による成果を確認できた。
- ・事業所の意見を聞くことができた。
- ・事業所同士で意見交換ができてよかった。
- ・制度は変わらないものなのだと思っていた。市に言われたとおりにしなければならないという考えでいたが、声を上げることで制度を変えることができることを知れてよかった。
- ・相談支援事業所からの連絡が増えた。
- ・当事者にとってサービスの選択肢が増えた。
- ・人事異動等で相談員が変わっていても移動入浴サービスの制度がきちんと周知され、浸透していくことが必要。
- ・移動入浴サービスが活用されるには、障害福祉サービスと同様に相談員のアセスメントが重要。相談員の知識や技術が求められる。
- ・取組のモニタリングは、ワーキングでやるばかりではなく、市など関係機関でやる方法も一案。
- ・「協議会」として課題がどのように取り扱われ、ワーキングの意見がどのような流れで上がっていくのかはわからなかった。しかし、ワーキングとしては意見を言いやすく、出た意見は市が持ち帰って検討してくれているという理解だった。意見をきちんと受けとめて制度改正につなげてもらった。「協議会」を意識しなくても取り組めた。こういう場があってありがたかった。
- ・結果的に、検討・取組スピードが遅かったと感じた。成果を課題の事例に返せなくなってしまう。
- ・今回の課題の事例者には返せなかったが、口コミで事例者の友人の利用につながった。

【協議会の機能について】

今年度の活動の中で(活動の振り返りから)、どのような協議会の機能があったかを確認する。

※協議会の機能詳細については別紙を参考。

	確認した機能の内容 (どのような部分が機能であったか、なかった場合はなぜなかったか等)
情報機能	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所同士の情報共有、意見交換。事業所職員の資質向上。 ・モニタリングのためのアンケートの実施は、相談員への移動入浴サービスの再周知になった。
調整機能	<ul style="list-style-type: none"> ・デモンストレーション実施のきっかけをつくることができ、相談員に移動入浴サービスを具体的に知ってもらえた。 ・利用者の状況を事業所が相談員へ連絡し、密に情報共有できる仕組みができた。
開発機能	<ul style="list-style-type: none"> ・制度改正につながった。 ・市職員と顔見知りになり、手続きがスムーズになった。 ・デモンストレーション実施のきっかけをつくることができ、相談員に移動入浴サービスを具体的に知ってもらえた。 ・利用者の状況を事業所が相談員へ連絡し、密に情報共有できる仕組みができた。
教育機能	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所同士の情報共有、意見交換。事業所職員の資質向上。 ・デモンストレーション実施のきっかけをつくることができ、相談員に移動入浴サービスを具体的に知ってもらえた。 ・モニタリングのためのアンケートの実施は、相談員への移動入浴サービスの再周知になった。

権利擁護機能	・当事者の入浴の選択肢が増えた。
評価機能	・ワーキングの取組に時間（3か年度）がかかった。

【今年度の振り返り・協議会の機能から確認できた成果】

※モニタリングによる成果(地域へ還元できたかどうかの成果)とは異なることに留意

3 来年度の取り組みについて

来年度の継続	継続 <input type="radio"/> 終了 <input checked="" type="radio"/>
継続・終了の理由	今年度のモニタリングによって成果の確認ができた。 ワーキングの目的は達成できたため、今年度をもってワーキングを終了とする。

※部会を一旦終了とする場合については、運営会議にて協議の判断材料とできるようその理由を明確に記載すること。

今年度の取り組みに対する モニタリングの実施	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	モニタリング実施時期	年 月
---------------------------	-------------------------------------------------------	------------	-----

※ワーキングのみ記載

【振り返り・評価内容を受けて、来年度改善を行うこと】 ※来年度継続の場合

会議内容や方法に取り入れることなど、具体的に記載する。

【来年度の方向性・具体的取り組み内容や引継ぎ事項等】 ※来年度継続の場合